

第 1 章 序 論

1. 基本計画策定の趣旨

本計画は、平成19年に策定した、合志市総合計画第1次基本構想（構想期間平成20年度から平成27年度の8年間）で示した、将来都市像「未来輝く産業定住拠点都市」の実現を目指して、まちづくりの基本理念である「人と自然を大切にしたい協働によるまちづくり」を基に、第1期基本計画（計画期間平成20年度から平成22年度の3年間）に引き続き、今後5年間のまちづくりに関する、施策の基本的な取り組みについて示すものです。

2. 計画期間

本計画における計画期間は、平成23年度（2011年度）から平成27年度（2015年度）までの5年間とします。

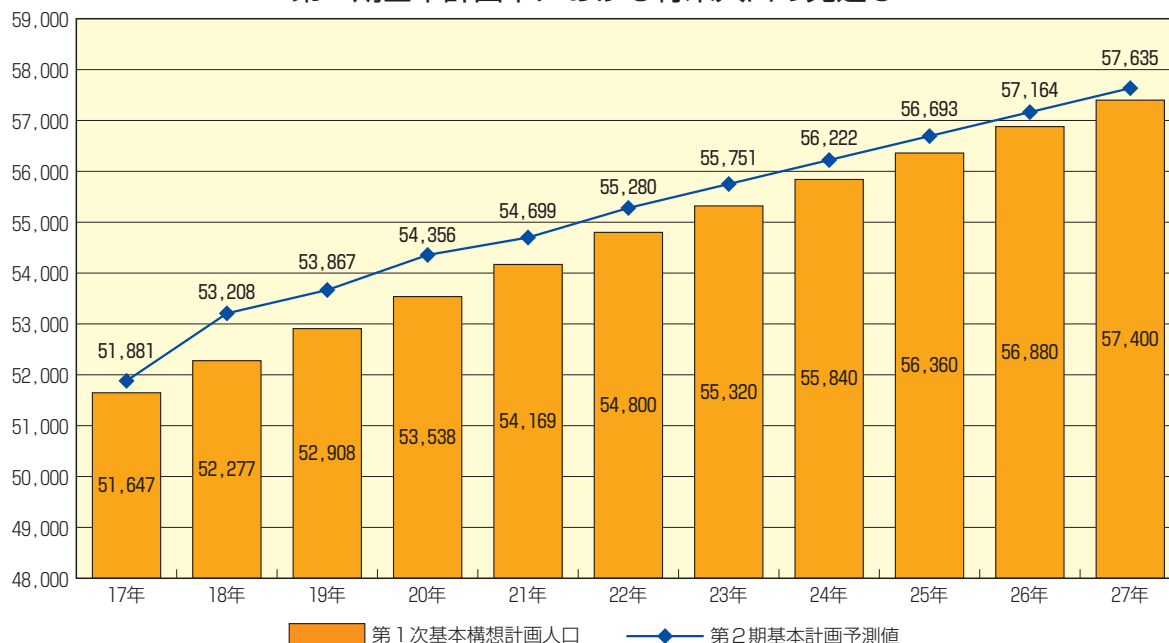
3. 人口予測

第1次基本構想では、平成12年と平成17年の国勢調査の数値を基に、平成27年度における人口を57,400人と推計しました。

第1期基本計画期間中における本市の人口は、増加傾向が続いていますが、地理的条件の優位性や子育て支援日本一のまちづくりを掲げて、子育てに対する取り組みを強化したことなどが要因と考えられます。

第2期基本計画期間中の本市の人口についても、自然動態（出生数－死亡数）では、毎年200人程度の増加が見込まれることや、社会動態（転入数－転出数）では、増加率が鈍化傾向にあるものの、市街化調整区域内での地区計画等による開発等が今後続くことが予想されることや、市民ニーズに合った的確な行政サービスを提供することで、微増で推移すると予測され、平成27年度の人口については、第1次基本構想と同じ57,400人になると推計しました。

第2期基本計画における将来人口の見通し



4. 政策体系の再編

第1期基本計画では、まちづくりの4本の政策（基本方針）のそれぞれについて、各政策を実現するための、まちづくりの課題となる24本の施策を目的別に設定し、各施策の下に、施策の成果を向上させ目的を達成するための柱として、91本の基本事業を設けました。

さらに、基本事業の下に、具体的な手段として、各種事務事業を体系的に位置付けた、ピラミッド型の政策体系を構築し、さまざまな事務事業を展開してきました。

第2期基本計画では、第1期基本計画の3カ年の取り組みを踏まえたうえで、第1期基本計画の24本の施策の中で、複数の目的を持った施策を個々の目的別に分離するなど、施策、基本事業を分離、統合、新設するなどの最小限の整理を行ない、施策名等も一部修正を加えた上で、26本の施策と93本の基本事業に再編しました。

5. 数値目標の設定

本市の総合計画の進行管理については、総合計画と連動した行政評価システムにより実施しています。

第2期基本計画でも、施策・基本事業の目的が、どの程度達成されたかを測る数値目標として、成果指標を設定し、平成21年度の現状値を基に、平成27年度までの目標値を設定しました。

毎年度実績値を把握し、目標値に対する達成度を示していきます。

